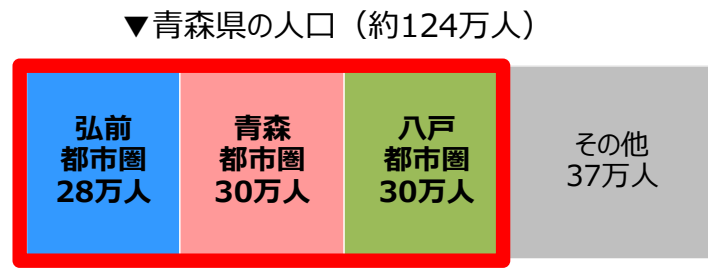
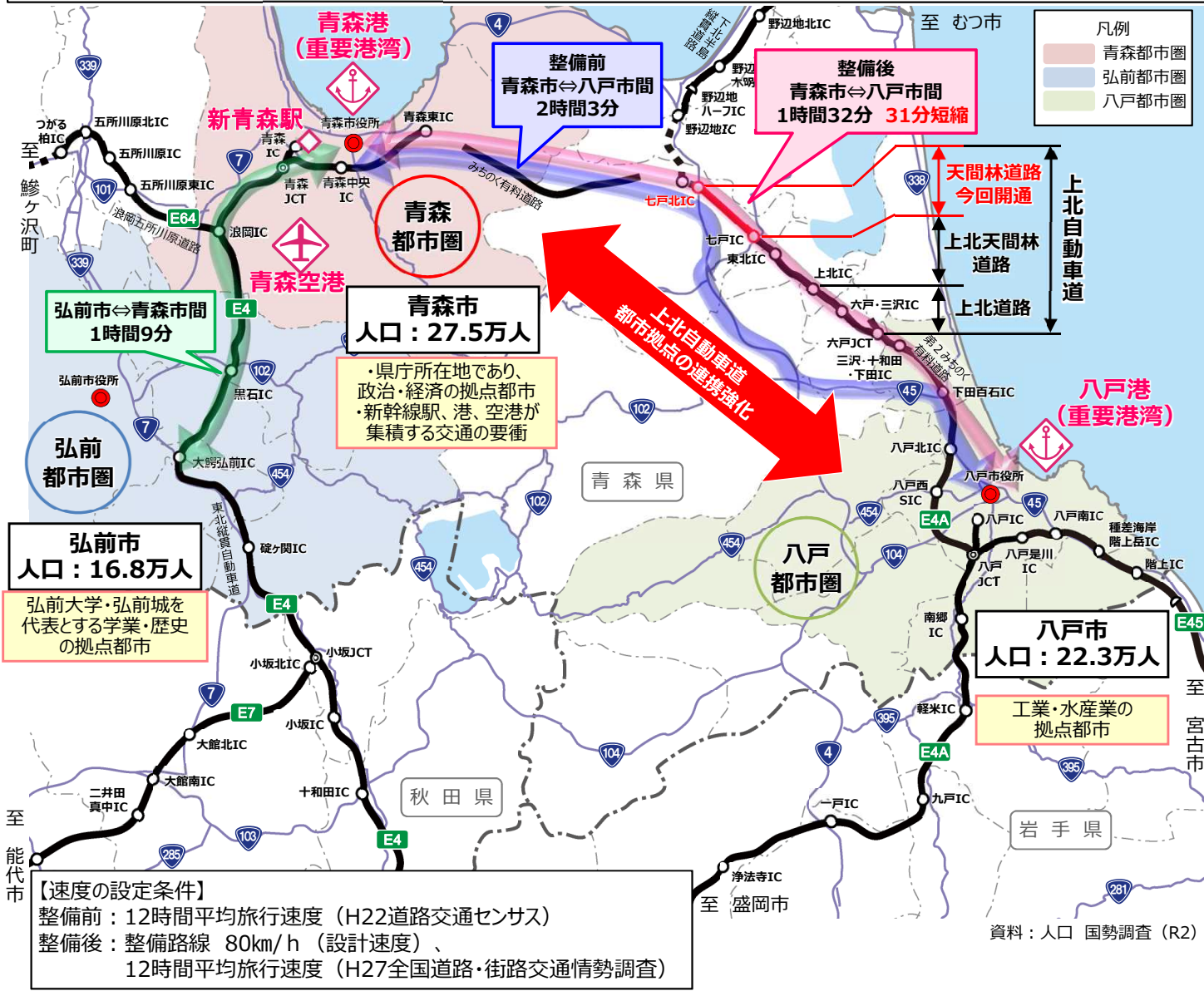


# 青森～八戸間の連携を強化！

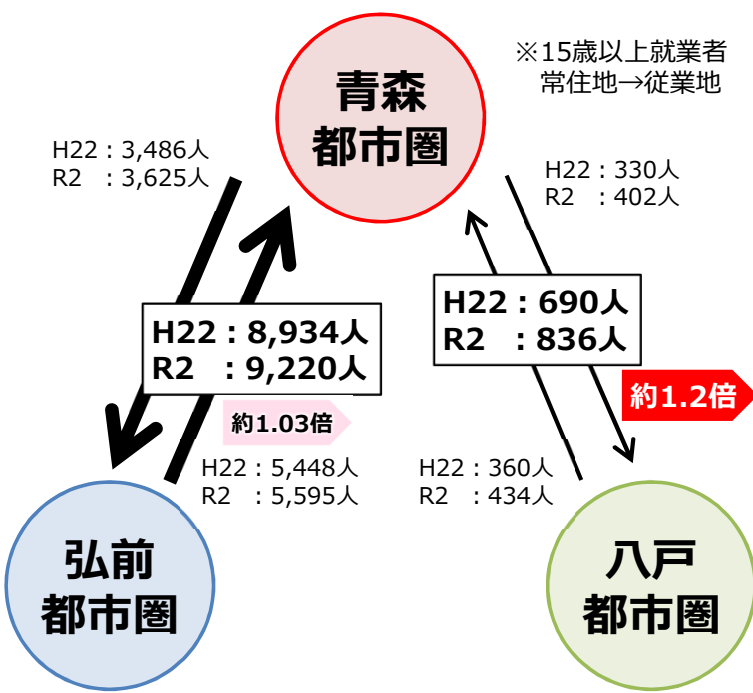
- ◆青森市～八戸市間の所要時間は現道の国道4号、45号等経由で約2時間。
- ◆上北自動車道の整備により所要時間が約1時間30分（約30分短縮）に短縮され、県内主要都市間の連携が強化。
- ◆上北自動車道の整備前に比べ、青森～八戸都市圏間の流動は約1.2倍となっており、更なる都市間の連携強化により地域間の交流人口の拡大を支援。



**3都市圏に約7割が集中**

資料：国勢調査（R2）

▼3都市圏間の通勤状況



資料：国勢調査（H22、R2）

資料：人口 国勢調査（R2）

# 青森県の特産品を全国へ！

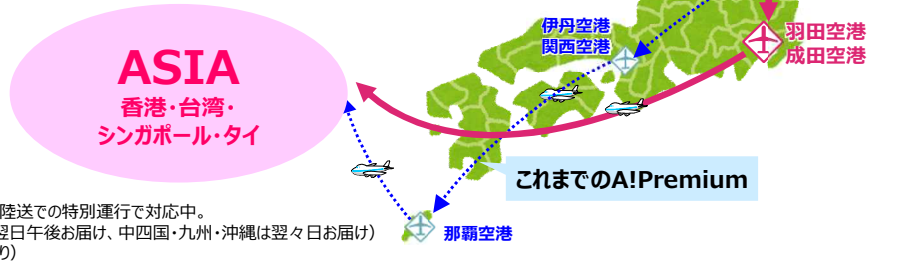
- ◆青森県では、H27.4より新たな流通サービスとして『A!Premium輸送サービス』を開始。
- ◆国内における『A!Premium』取扱量はサービス開始以来、過去最多の取扱量。R4.8からは青森空港を利用した海外向け輸送が開始。
- ◆天間林道路の開通に伴う地域間の物流効率の向上による利用者・出荷量の拡大のほか、年間を通じた安定輸送に期待。

## 『A!Premium』のサービス

- ★航空機を使用したスピード配送で、翌日午前中配達エリアを大幅に拡大
- ★鮮度、品質を維持した「保冷一貫輸送」で、西日本への販路構築を支援
- ★アジア圏への最短翌日配送  
(香港、台湾→翌日中、シンガポール、タイ→翌々日)

### 現在のA!Premium

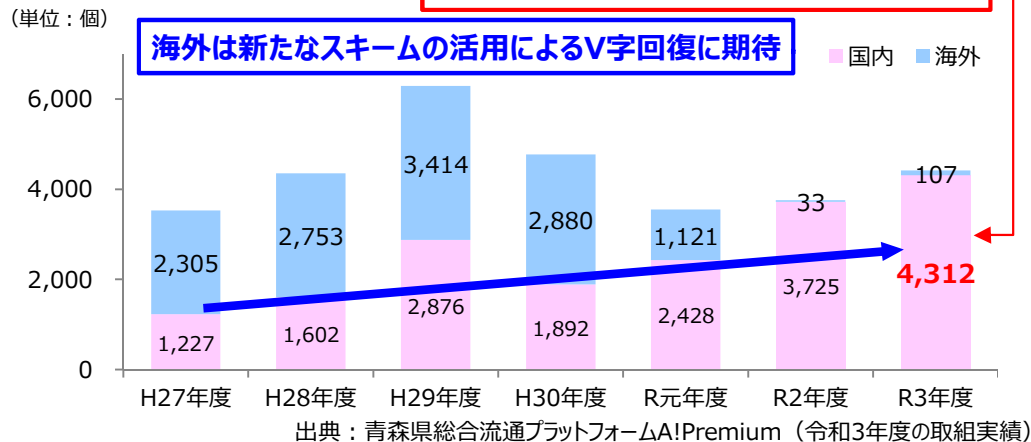
- ・R4.8から青森空港を活用した海外輸送を開始
- ・締切時間が緩和することで、利用者の拡大に期待
- ・県内全域から当日中の集荷が可能に
- ・今後青森空港の国際線が再開されれば直行便での輸送も可能に



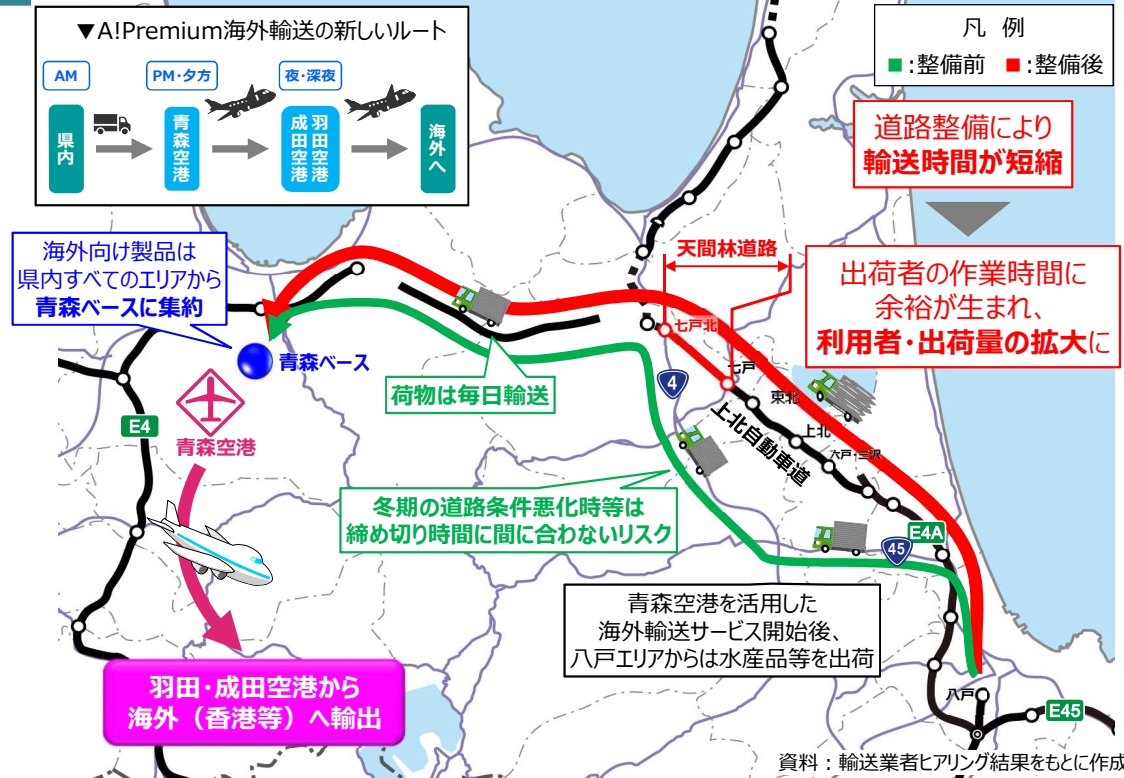
※令和2年6月から陸送での特別運行で対応中。  
(中部・関西は翌日午後お届け、中四国・九州・沖縄は翌々日お届け)  
(青森県資料より)

## 『A!Premium』取扱量の推移

国内はサービス開始以来過去最多の取扱量



## ▼A!Premiumの輸送ルート (海外向け)



### 【青森県港湾空港課の声】

- ・青森空港を活用した海外輸送の開始は、これまでと比べて利用者（出荷者）の出荷時間が遅くなることから、利用者の拡大につながるものと期待している。
- ・特に冬場は、空港への持ち込み時間の締め切り時間に間に合わない可能性があり、天間林道路等の高速道路の利用が必要不可欠である。(R4.8 ヒアリング結果)

### 【輸送業者の声】

- ・天間林道路が開通することで時間短縮や冬期の交通確保など期待される効果は大きく、上北自動車道の利用が増えると考えている。
- ・出荷時間が遅くなることにより、今まで利用できなかった利用者が利用できるようになったり、既存利用者の出荷量が増えたりと利用拡大が見込まれる。(R4.9 ヒアリング結果)



# 地域産業の活性化に貢献！

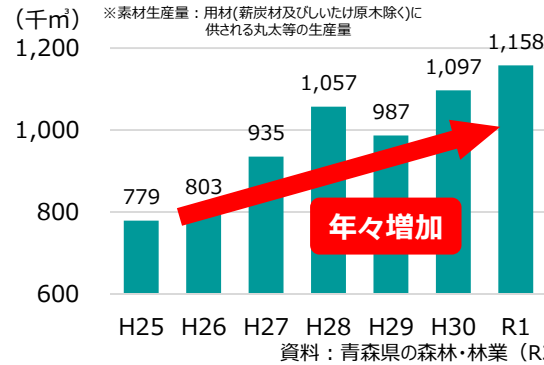
- ◆優れた森林が豊富に存在している青森県では、近年素材生産量が増加傾向、木材加工に使われるスギの素材生産量シェアは全国4位。
- ◆上北自動車道のIC近傍には、平成27年に国内最大規模の木材加工工場が新設され、平成31年には新工場を増設。
- ◆加工される原木のうち、約5割は東青・下北地域から搬入され、関東をはじめ全国へ出荷しており、製品出荷量は年々増加。
- ◆上北自動車道延伸により、原木搬入から製品加工までの更なる効率化と生産性向上に貢献。



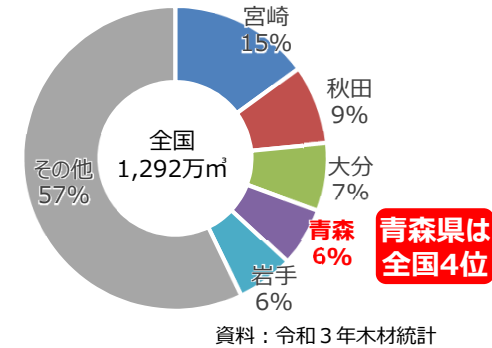
▲原木の搬入とLVLの出荷の流れ

出典：木材加工会社ヒアリング結果

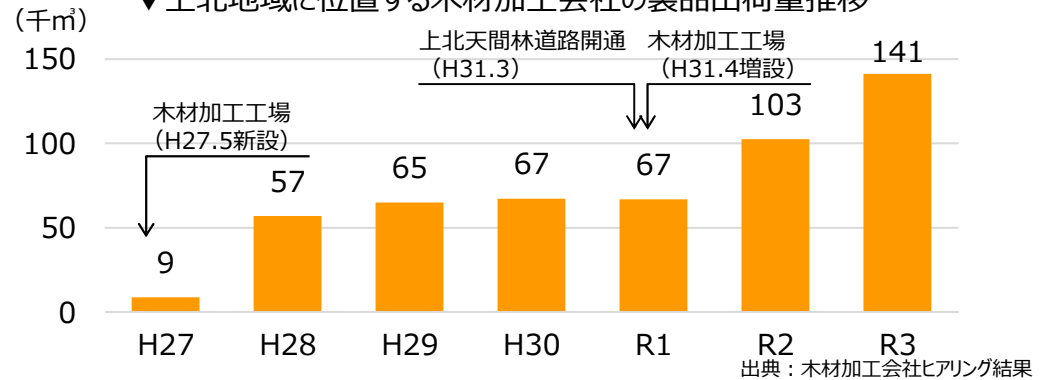
## ▼青森県の素材生産量※の推移



## ▼スギの素材生産量のシェア



## ▼上北地域に位置する木材加工会社の製品出荷量推移



## 【青森県（企業誘致）の声】

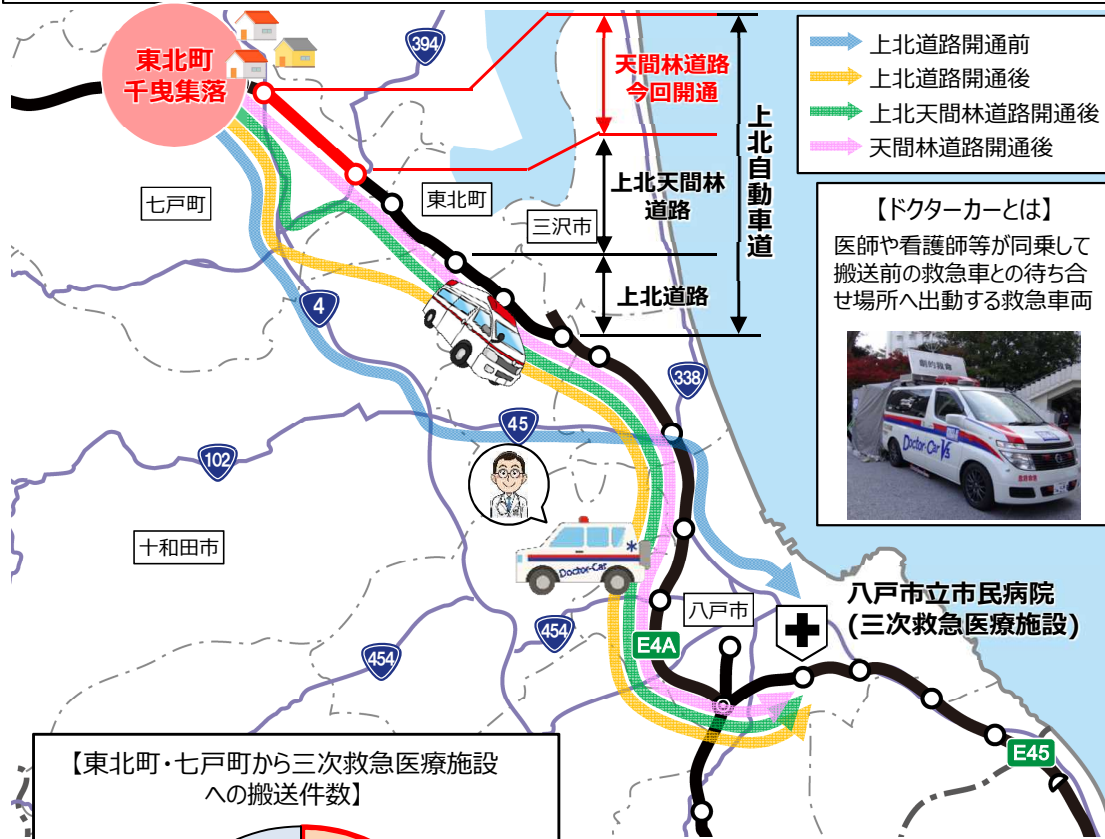
- ・天間林道路の開通を含む上北自動車道の延伸によって、青森地域や下北地域、岩手県北地域への物流効率の向上等、IC直近の工業団地の優位性に繋がり、アピールポイントとなる。(R3.7 ヒアリング結果)

## 【木材加工会社の声】

- ・上北天間林道路の開通により、原木搬入、製品出荷の運行時間短縮や運転手の疲労軽減等が図られている。
- ・天間林道路が開通すれば、一層時間が短縮され、運送が効率化するものと期待している。(R4.8 ヒアリング結果)

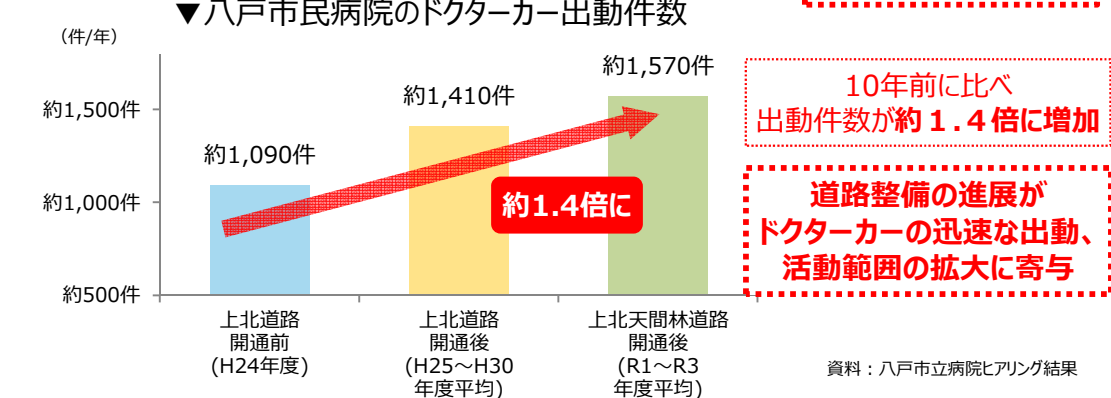
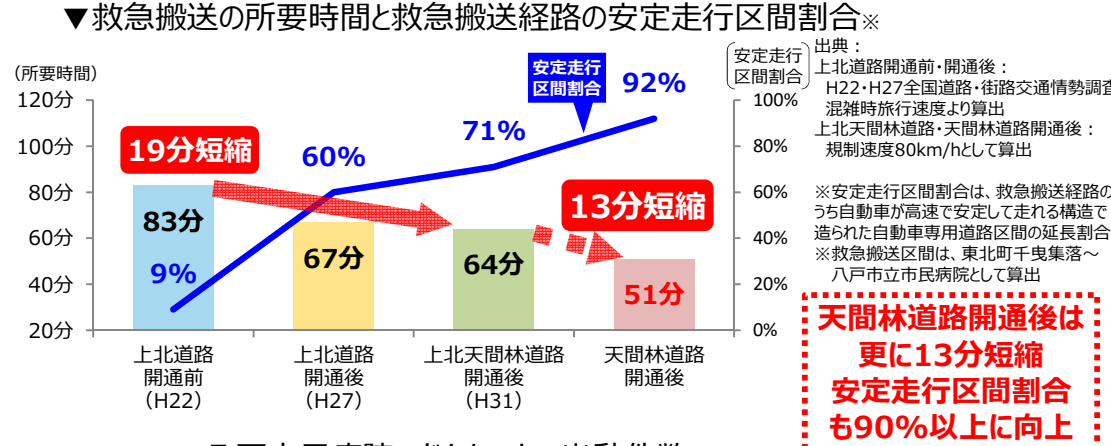
# 救急搬送の速達性・安定性が飛躍的に向上！

- ◆東北町、七戸町から三次救急医療施設への搬送は、約6割が八戸市立市民病院へ搬送。
- ◆上北天間林道路開通後は、上北天間林道路を利用した搬送ルートの変更により搬送時間が19分短縮、安定走行も可能に。
- ◆また、医師を乗せたドクターカーと救急車との接触までの時間も短縮するほか、活動範囲が拡大することで、地域の救命医療活動を支援。



→ 上北道路開通前  
→ 上北道路開通後  
→ 上北天間林道路開通後  
→ 天間林道路開通後

【ドクターカーとは】  
 医師や看護師等が同乗して搬送前の救急車との待ち合わせ場所へ出動する救急車両



**【中部上北広域事業組合消防本部の声】**

○上北天間林道路の開通後は救急搬送時のルートを上北自動車道に変更し、八戸方面への搬送時間の短縮、重症傷病者が安静にした状態で走行ができるようになり、大変有効だ。また、ICが増えたことにより、救急車とドクターカーの合流場所が増加し、接触までの時間短縮により、早期の治療開始が可能となることもあり、八戸市立市民病院への搬送割合も増えている。(R4.8 ヒアリング結果)

**【八戸市立市民病院の声】**

○救急車とドクターカーの接触までの時間が短縮されることで、特に心疾患や脳疾患、重症外傷への早期治療が可能となり救命率の向上が期待される。

○これまで七戸町・東北町が出動範囲の限界であったが、天間林道路の開通により、さらに活動範囲を広げることができ、野辺地方面から当院への救急搬送件数が増えることが想定され、周辺住民に対し高度な救急医療を提供できるようになる。(R4.9 ヒアリング結果)